

第13回日本静脈学会瀬戸内西日本支部総会（13th Setouchi Venous Forum in Hiroshima）当番世話人のたかの橋中央病院血管外科春田直樹です。

今回は非常に残念なお知らせです。第13回SVFを3月末に控えておりましたが、中止を正式決定しようと思いましたが、当初3月7日の最終打ち合わせで開催の是非を話し合う予定としておりましたが、ここ2週間程で状況は悪化の一途をたどっており、また中止決定が遅れる程、皆様にご迷惑をお掛けする状況であり、早めの中止決定と致しました。

昨年の3月から本日まで、日本静脈学会瀬戸内西日本支部総会会員の皆様や、広島リンパ浮腫研究会世話人の皆様と打ち合わせを重ね、静脈疾患に加え、四肢リンパ浮腫や、生活習慣に起因する浮腫など、在宅医療・訪問看護・緩和医療などの現場で役立つ情報を発信しようとプログラム構成に苦心しておりましたが、思いもかけずCOVID-19と呼称される新型コロナウイルス感染症に足をすくわれる結果となりました。

皆様からのご意見伺いましたが、開催・中止ともに五分五分のご意見頂き、どちらを選択しても、悔いの残る結果となりそうであり、最後は参加者の安全第一、間違っても第13回SVFへの参加がCOVID-19の感染機会となるようなことは避けるべきと判断致しました。

参加を予定とされておられた皆様に対し直前での中止報告となりましたことを深くお詫び申し上げます。

なお最後になりましたが、今回の第13回日本静脈学会瀬戸内西日本支部総会開催にあたり多大なるご協力・ご支援をいただいた関係各位、企業各社の皆様に感謝申し上げますとともに厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

末筆ながら、皆様がCOVID-19に罹患することなく、日々の診療・活動を継続できますことを祈念申し上げます。

2020年2月28日

たかの橋中央病院血管外科
春田 直樹 拝